

【NEWS RELEASE】

2024年9月27日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行「SMBCの森」の環境省「自然共生サイト」認定取得について

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、「SMBCの森」（神奈川県伊勢原市）が、2024年9月27日付で環境省による「自然共生サイト※1」の認定を取得したことをお知らせいたします。「自然共生サイト」は、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」として国が認定するものであり、三井住友銀行の環境保全活動の新たな一步を示すものです。また、弊行は2024年4月より「生物多様性のための30by30アライアンス※2」にも参加しています。

認定された区域は県の鳥獣保護区が含まれており、豊かな生態系と多様な生物種が存在しています。また、神奈川県の「水源の森林」にも指定されており、潤沢な水資源を有します。都心部から近く大山山頂への登山道もあることから、登山客やバードウォッチャー等も訪れる、豊かな自然が楽しめる区域となっています。

主な植生はスギ・ヒノキ・サワラですが、原生モミ林・ブナ林などの多種多様な植生を含む地域となっています。環境省のレッドリストで絶滅危惧種に指定されているクマタカ、キンラン等の動植物や、ジャコウアゲハ等の貴重な昆虫も生息しています。

こうした希少種を含めた多様な生態系を維持していく為に重要となる低層植生の育成・保護を目的に、シカの食害防止の為に侵入防止柵の設置や、間伐を行う等の適切な森林管理を実施します。

三井住友銀行は、「SMBCの森」の生物多様性の保全・回復を通してネイチャーポジティブ実現に向けた取組を強化し、社会的価値の創造に取り組んでまいります。



クマタカ



キンラン



ジャコウアゲハ

※1：自然共生サイト

「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定する区域のことです。

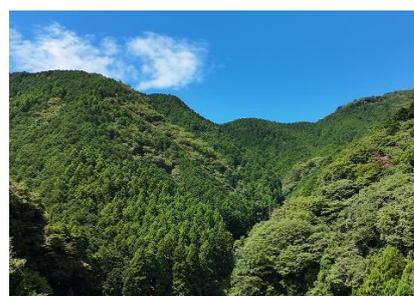
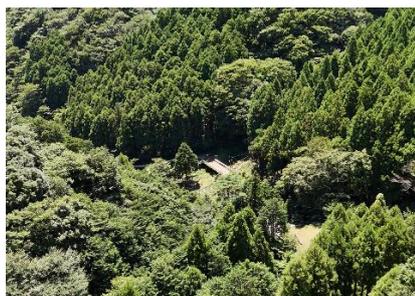
※2：30by30 アライアンス

2030年までに自国の陸域・海域の30%を保全・保護するという国際的な目標を達成するための連携体です。生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）というゴールに向けて活動しています。



「SMBCの森」について

2024年5月に取得した神奈川県伊勢原市日向地区の森林（約220ha）です。この森林の保全や再生を通じ、社会課題である地球温暖化防止や生物多様性の保全・回復に取り組んでいます。具体的には、①植生調査を基にした生物多様性の保全・回復、②森林由来のクレジットの創出、③環境教育サイトの設置と環境プログラムの実施、④バイオマス発電や間伐材等を活用した森林業の活性化、等に取り組んでいます。



[2024年4月1日プレスリリース：伊勢原市日向地区の森林取得とその活用について](#)

以 上